

2019 年 JODA ナショナルチーム選考方針(公示)

1. 選考対象選手権(以下選手権)

- | | | |
|--|----------------|-------------------|
| 1.1 IODA 世界選手権大会 | 2019.7.6～16 | 開催地:アンティグア |
| 1.2 IODA アジア&オセアニア選手権大会 | 2019.9.30～10.7 | 開催地:オマーン ムッサナー |
| 1.3 IODA ヨーロッパ選手権大会 | 2019.6.22～29 | 開催地:フランス クロゾン モルガ |
| 1.4 参加人数は最終選考会閉会式までに選手権主催者と確認した人数にて選考する。 | | |

2. 最終選考会での内定

<内定手順>

- 2.1 上位より 5 名をIODA世界選手権に内定する。他の選手権を選択することはできない。
- 2.2 それに次ぐ順位の選手は、その選手的意思によりIODAアジア・オセアニア選手権またはIODAヨーロッパ選手権に内定する。(各選手権への参加人数は閉会式までに各選手権主催者と確認した人数にて選考する) 既に一次選考会レース公示 18.2 でアジア選手権に内定している選手がいる場合はその選手を優先する。
ただし、その選手がアジア選手権を辞退した場合は、一次選考会の次位者による繰上げは認めない。
- 2.3 各大会に内定した選手は、その発表の場において参加の意思表示を行わなければならない。
- 2.4 参加の意思表示について、保留はできない。 辞退はできる。
- 2.5 辞退者等の事情により派遣可能最大人数に満たないまま最終位まで到達した場合でも最終選考会に参加していない選手の繰上げ等は行わない。
- 2.6 万一、本レガッタが成立しなかった場合、1 次選考会の成績上位者から順に内定する。
- 2.7 内定者が、陸上海上を問わずスポーツマンシップ、フェアプレーの原則および一般常識から逸脱した行為があったと認められる場合、JODA理事会決議によって内定を取り消すことがある。
- 2.8 JODAは内定取り消しにともなう、いかなる損害賠償にも応じない。
- 2.9 最終選考会終了後に内定者が止むを得ない事情で辞退した場合、最終選考会下位選手に原則繰り下げは行わない。内定済み選手との組み替えは原則行わない。
- 2.10 最終選考会終了後に内定者を追加する場合、内定されていない上位者(最終選考会当日辞退者含む)より順にヒアリングして内定する。内定済み選手との組み替えは原則行わない。
- 2.11 最終選考会終了後に選手権が不開催、派遣中止となった場合、他の選手権の内定選手と組み替えは原則行わない。
- 2.12 最終選考会終了後に各選手権の参加可能人数の減少が発生した場合、該当選手権内定者のうち、最終選考会下位の選手から内定を取り消す。但し、該当選手権がアジア&オセアニア選手権の場合、一次選考会による内定者を除く。
- 2.13 内定後、正式認定までについては、閉会式後の内定者ミーティングにて説明する。

3. ナショナルチーム認定

- 3.1 内定選手は最終選考会後開催されるJODA主催のナショナルチーム合宿に全日程、必ず

参加すること。

- 3.2 ナショナルチームに相応しい心技体を保有している内定選手をJODA理事会にて認定する。
- 3.3 JODA理事会により内定選手の認定取消があった場合、最終選考会の下位選手への繰り下げは行わない。認定後も同様とする。
- 3.4 JODAは認定取り消しにともなう、いかなる損害賠償にも応じない。
- 3.5 ナショナルチーム帯同の役員は、各チームからの申請にもとづきJODA理事会にて認定する。
- 3.6 派遣する役員は必ずJSAF及びJODAの会員でなければならない。
- 3.7 世界選手権代表チームについて
 - ・世界選手権代表チームのコーチはJODAが任命する。
 - ・世界選手権代表チームにはJODAから補助金が支給される。補助金の内容詳細は閉会式後の内定者ミーティング又はナショナルチーム合宿にて説明する。
 - ・世界選手権代表チームの国代表には大会期間中に開催させるJODA総会「AGM」への参加をお願いすることがある。但しJODAから派遣されたときはその限りではない。

4. 不開催又は不成立時の措置

4.1 最終選考会が不開催又は不成立

年齢条件を満たす全日本選手権の上位選手から順にヒアリングしてナショナルチームに内定する。

4.2 ナショナルチーム合宿が不開催

JODA が内定選手の日頃の活動を個別に確認し認定する。

以 上